伸縮式立水栓 D-EN2

工事店様用　施工説明書

（社）日本水道協会品質認証センター認証登録品

■この度は、伸縮式立水栓D-EN2をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。
■本製品は、立上り管が伸縮する機能を持った立水栓です。
■取扱説明書に貴店名を明記の上、お客様にお渡し下さい。

安全上のご注意

ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について

表　示	表示の意味すること
⚠警告	人が死亡したり、重傷を負う可能性がある内容です。
⚠注意	人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容です。
🚫	絶対にしないで下さい。（行為の禁止）
❗	必ずして下さい。（行為の強制・指示）

⚠注意

🚫 禁 止

- 器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
- ねじ部は素手で触れないで下さい。けがをする恐れがあります。
- 保護キャップは配管直前まで外さないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
- キャップを埋めないようにして下さい。キャップが埋まっていると、内部抜き出しができなくなり、メンテナンスが困難になります。
- 耐圧試験後、ハンドルで圧抜きをしないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。

❗ 強 制

- ステンレス配管を接続する際は、絶縁処理を適切におこなって下さい。電気腐食の恐れがあります。
- 管軸に対して操作部が垂直に上を向くように施工して下さい。作動不良の原因になります。
- 排水部周辺は、浸透マス・排水ブロックまたは、砂利・砕石等を用いて、水はけをよくして下さい。水はけが悪いと破損し、漏水が発生する恐れがあります。
- ハンドルが確実に回せるようなスペースを確保して下さい。ハンドルが確実に回せないと、破損し、漏水が発生する恐れがあります。
- 施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
- 仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等が発生する恐れがあります。

操作方法

■伸縮操作

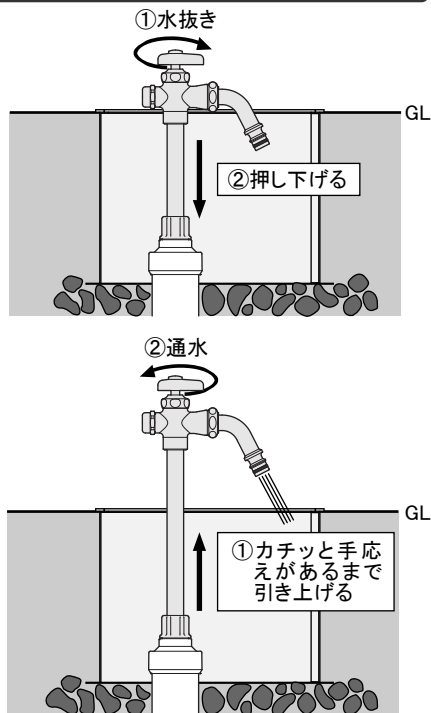
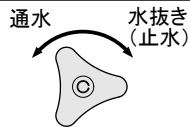
❗ 伸縮操作をする前に、必ずホースを吐水口からはずす。
❗ 吐水口を下側に向ける。

①ハンドルを"水抜"方向（右回り）に止まるまで回します。（水が抜けます）
②水抜きが終わったら、ハンドルを手で軽くたたき、ロックを解除してから、伸縮管を押し下げて下さい。

■通水操作

❗ 伸縮管を引き上げた状態でハンドル操作をする。

①クロスを持って、伸縮管をカチッと手応えがあるまで引き上げます。
②ハンドルを"通水"方向（左回り）に回し流量を調整します。

⚠注意
通水操作直後は吐水口から水が飛び散ることがあります。

販売元

日本興業株式会社

お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをお知らせ下さい。

- 製品名
- 詳しい状況、内容
- その他、お気づきになられたこと
- 施工日
- 氏名、住所、電話番号

株式會社 外村製作所
支店・営業所／札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス http://www.futou.co.jp

お客様ご相談窓口
フリーダイヤル 0120−107210（イーナフトー）
月〜金 AM9:00〜12:00 PM1:00〜5:00

施工例と各部名称

■ オプション

■仕 様

使用流体	水道水
使用温度	常温
使用圧力	1.0MPa{10.2kgf/cm²}以下

水道法性能基準適合（耐圧・浸出性能）

施工方法

1. 配管前に…

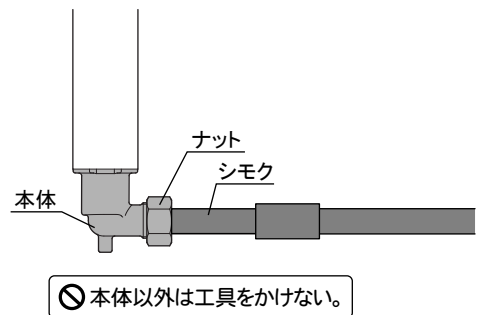
①メンテナンスのために、上部に立上り管一式（内部構造）が抜き出せるような場所を選んで下さい。
②水を抜いた時、排水が確実に浸透するような施工をおこなって下さい。

❗ 排水部をふさがない。

スペースを確保する
埋設深度
本体
排水部
水はけを良くする

2. 配管との接続

①配管種類に合わせて、シモク・ナット、継手等を配管に取り付けます。
②ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、エルボと接続します。

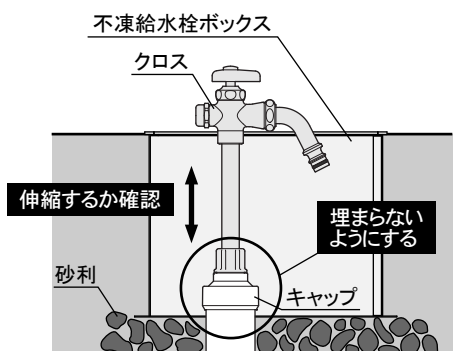
配管接続：ユニオン式

3. ボックスの設置

①キャップが埋まらないようにして、不凍給水栓（または散水栓）ボックスを設置します。
②最後に、クロスを持って伸縮管が伸縮するか確認します。

※砂利等を敷いてボックスを設置すると水はけがよく衛生的です。

■オプション

不凍給水栓用のボックスです。

ステンレス製不凍給水栓ボックス

洗管と作動確認

■洗管

施工後、伸縮管をカチッと手応えがあるまで引き上げます。次に、ハンドルを全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■作動確認

洗管後、ハンドルを操作して水が抜ける（排水する）ことを確認して下さい。